

# SUPER-FJ Race report



## 2020 S-FJ 日本一決定戦

2020年12月5・6日 ツインリンクもてぎ 天候:晴れ 参加37台



FJ1600 の時代から合わせると今年で 23 回目となるスーパーFJ 日本一決定戦が、ツインリンクもてぎで 12 月 7 日に開催された。今年はコロナ禍でまさに激動のシーズンとなり、各地でレース日程の変更、中止が相次いだ。中にはレース活動を自粛したドライバーもいたことだろう。

そんな状況においても、日本一決定戦は予定どおり行われたばかりか、37 名のエントリーを集めることに。関係者の努力、そして出場したドライバーの情熱には敬意を称するばかりだ。

### 《予選 A 組》

金曜日までは好天に恵まれていたものの、最終調整になるべき土曜日は皮肉にも終日雨模様。日曜日には再び晴れ予報が出ていたこともあり、中には出走を見合わせていたドライバーも存在した。実際、日曜日はサーキット上空に青空が広がっていたが、早朝に行われた予選は路面に水が残ってしまう。

先に行われた F4 の予選ではウェットタイヤを選択していたドライバーが上位を独占。そのため、スーパーFJ の予選 A 組では、何名かがウェットタイヤを選んでしたが、筑波・富士チャンピオンの伊藤駿選手もそのひとりだった。計測1周目こそトップだったが、その後の伸びを欠く。最終的に、伊藤選手は 11 番手に甘んじてしまう。

代わってトップに立ったのが宮下源都選手。全日本カート選手権 OK クラスと合わせ、シーズン半ばから出場することとなった二十歳のドライバーは、これがスーパーFJ5 戦目で、リバーズグリッドとなった岡山シリーズの第5戦で優勝経験を持つ。1週間前に行われた前哨戦ともなった、もてぎシリーズ最終戦ではポールポジションを獲得し、決勝では 2 位に。

「レース経験があんまり少ないので不安な部分も多くて、自信もそこまでないんですけど、自分の力を最大限出せるように頑張ろうと思っています」と予選前には語っていた宮下ではあったが、周回を重ねるごとタイムを縮め続けて、ラストアタックでは、ひとり2分8秒を切る2分7秒 589 をマークするまでに。

2番手以下の多くが、ラストアタックで順位を決定。上野大哲選手が2分8秒 375 で続き、3番手は佐藤巧望選手で、ここまでが宮下選手と1秒差で、しかも鈴鹿がホームのドライバー。4番手にもてぎがホームの松澤亮佑選手がつけた。

5番手は石坂瑞基選手。今年はポルシェカレラカップジャパンやスーパー耐久を戦い、またスーパーフォーミュラ・ライツやフォーミュラリージョナルにスポット参戦の経験を持つ。本来は、別のドライバーが乗るはずだったが、急きょ土曜日になって出場が決定。「1週間前のレースにも出ているんですが、その前は鈴鹿でチャンピオンになった 2013 年。でも、その年、大学入試と重なって日本一決定戦には出ていないんです」と石坂選手。そして、6番手はレジェンドクラスの吉田宣弘選手だった。

•A 組 1 位 宮下源都選手 (MYST・KK-SII・制動屋)

「スリックで正解でした。レインの人もいたから、どうなることかと思っていましたが。感触も良かったです。まずレグ1ではスタートをしっかり決めたい。そこで順位を落とすしちゃうと、6周しかないから上りきれるか分からないので、スタートが重要になると考えています」

•A 組 2 位 上野大哲選手 (SACCESS RACING ES)

「感触、けっこう良かったです。セットもバッチリ決まって、昨日まで全然タイム出なくて、トップと1秒落ちぐらいだったんですけど、今回のハーフウェットのセットにバッチリ合ったのか、自分もロガーとか見て、合わせて来られたと思うので、めちゃめちゃ良かったです」



## 《予選 B 組》

続いて行われた予選 B 組は、迷うことなく全者がドライタイヤを選択。開始早々に最終コーナーでスピンがした車両があり、これを避けきれずフロントノーズとウイング、左のアームを痛めてしまったのが、なんと鈴鹿シリーズとジャパンチャレンジで二冠を獲得していた岡本大地選手だった！ そのため、赤旗が出されて計測は中断。もてぎシリーズ最終戦でも優勝を飾っており、本命との呼び声も高かったドライバーだ。

岡本選手にとって、今回は4度目の日本一決定戦ながら、過去 3 回いずれも完走していない。悪しきジンクスまたしても……と思われたが、最下位から4分後になんとか復帰を果たすこととなった。

再開後、トップにつけたのは元嶋成弥選手だった。2分9秒台から徐々にタイムを詰めていき、終盤になって岡本選手が2分4秒 882 をマークして一瞬だけトップに立つも、すぐに元嶋選手が再逆転。2分4秒 855 で第1レグの B 組を、ポールポジションからスタートすることとなった。

岡本選手に続く3番手は、オートポリスチャンピオンで唯一、ウエスト 19J を駆る西村和真選手。これに小松響選手、鶴岡秀磨選手、そして、もてぎチャンピオンの新倉涼介選手が続いた。

### •B 組 1 位 元嶋成弥選手 (MYST サクセス FIRST MOLDING)

「早めに出て行って、他の人より1周多く走れたのが良かったです。まだ詰められそうでしたけど、無理しなかったんですよ、予選は。まだ水が残っていて、ブレーキングの時にクルマが不安定だったから、それでちょっと抑えめで走っていたので、まだ行けます！」

### •B 組 2 位 岡本大地選手 (FTK・レヴレーシングガレージ)

「アウトラップの最終コーナーでスピンしたクルマがいて、避けようと思ったんですけど、動いたから当たってしまって。けっこうダメージひどく、まっすぐ走らなかったほどだったんですが、ウイングだけはレヴさんがレッドブルかと思うぐらいスピーディにやってくれたので、残り 10 分ぐらいでアタックできました。左よく曲がって、右曲がらないみたいな感じだったんですけど、予選落ちしなくて良かったです(苦笑)」



## 《第1レグA組》

第1レグの頃には、路面はもう完全にドライ。「今まで決まったことがない」スタートを、初めて決めたのが宮下選手で、これに続いたのが佐藤選手で、上野選手はさらに5コーナーで石坂選手にかわされて、4番手に後退してしまう。後方でこの順位を入れ替わりを尻目に、宮下選手はオープニングの1周だけでコンマ8秒の差をつけ、そのまま逃げ続けていった。4周目にはファステストラップ2分3秒 916 をマークし、次の周に3秒 658 にまで詰められては、ライバルにつけ入る隙などあろうはずがない。最後は6秒差で宮下選手の圧勝となった。

宮下選手には逃げられていたが、一時は後続をほぼ1秒離していた佐藤選手ながら、5周目の3コーナーで痛恨のハーフスピンがあり、7番手に後退。これで石坂選手が2番手に上り、最終ラップの90度コーナーでは松澤選手が、上野選手の前に出ている。

### ・A組1位 宮下源都選手(MYST・KK-SII・制動屋)

「スタートうまくいきました。タイヤがすっかりグリップしてくれてホイールスピンしなかったのが大きかったですね。まだタイヤは無理していないので、しっかり残っているはずですよ」

### ・A組2位 石坂瑞基選手(アウトィスタ テイク10V)

「KK-SIIの方がドラッグが少ないのか、一緒に走っているとストレートが速いんですよ。結構レースになると厳しいんですが、それでも2番手を守れたので、ファイナルは2列目から。なんとかトップ争いに絡んで、自分が最後に前にいるような展開に(笑)」

### ・A組3位 松澤亮佑選手(群馬トヨペット リノアED)

「スタート決まったんですが、イン側はちょっと濡れていたのが第1レグだし、とりあえず引いておいて。様子見ながらというのもあったんですが、とりあえず3番でファイナルにつなげよう。そこはうまくいったと思います」



## 《第1レグB組》

フロントローに並んだ元嶋選手、岡本選手ともに好スタートを切り、早々と後続を引き離しにかかる。トップ浮上を狙う岡本選手は早々に仕掛け、3周目の3コーナーから 130R まで元嶋選手と並走するが、この週の逆転は果たせず。それでも4周目の1コーナーで前に出るも、元嶋選手もまたピタリ着いて離れず。5周目のヘアピンでは、元嶋選手が再逆転に成功。最終ラップにファステストラップとなる2分3秒 997 を記録して、最後は岡本選手を振り切った。3番手は終始、西村選手が単独走行。その後ろでは8番グリッドから野島遼葵選手がスタートでまず1台を、そして 90 コーナーでももう1台を抜いて6番手に。その勢いは衰えることなく、3周目には4番手に浮上する。その後は小松選手と鶴岡選手が激しくバトルを繰り広げ、何度も順位を入れ替えるも、最後は小松選手の粘り勝ち。続いて新倉選手がゴール。

### ・B組 1位 元嶋成弥選手(MYST サクセス FIRST MOLDING)

「たった6周なのにめっちゃ長くて、耐久レースのように感じました。タイヤは全然大丈夫です。最後どうしても3秒台出したくて頑張りました。出せて良かったです。宮下くんも来そうですね！」

### ・B組 2位 岡本大地選手(FTK・レヴレーシングガレージ)

「手強かったですけど、クリーンなレースができました。ストレートが向こう速くて、抜いた後逃げ切れるかなと思っていたんですが、スリップ使われたら全然ダメなので、抜かれた時は無理せず行ってもらいました。ファイナル勝負と、最後までタイヤ温存で。最善を尽くして、最後チャンスあれば、と思っています」

### ・B組 3位 西村和真選手(WEST 19J)

「全然ペースが上がらなくて、見える位置にいるのが精いっぱいでした。今、ちょっとスタートは失敗気味だったので、そこも含めてファイナルでは攻められるように頑張りたいと思います」



## 《ファイナルレース》

1台も欠けることなく、エントリーした 37 台はすべてファイナルのグリッドに並びこととなった。上空には青空が広がり、まさに今シーズンの締めくくりにはうってつけの舞台だ。

またしてもスタートを決めたのは、ポールシッターの宮下選手。逆に元嶋選手はタイミングは悪くなかったものの、シフトミスもあって岡本選手と石坂選手の先行を許してしまう。この4人に続いたのは松澤選手、そして6列目からスタートの伊藤選手だった！

1周目を終えた時点で、宮下選手のリードはコンマ6秒。これを2周目にはコンマ1秒詰めていた岡本選手だったが、3周目にはまた差を広げられる。4周目から2周にわたって、2分3秒台のファステストラップを連発したこともあって、宮下選手はまたも逃げの構えに入っていた。

一方、3番手争いは動きがあって、3周目のS字で元嶋選手が石坂選手をパス。その間に岡本選手もプッシュしたこともあり、折り返しの頃にはトップ3が単独走行になるかと思われた。しかし、予想に反して逆に岡本選手と元嶋選手のペースが優るようになり、4番手以下を引き離してただけに、なんとか団子状態に持ち込みたいところ。

その機会が最終ラップに訪れた。まずコントロールラインを超えた時点で、宮下選手と岡本選手、そして元嶋選手の間隔がそれぞれほぼコンマ5秒に。さらに2コーナーでは宮下選手が突然失速。「ギヤをミスったわけでもなく、原因は分からないのですが」と宮下選手。そのチャンスを逃す手はないと、岡本選手が4コーナーで迫り、立ち上がったところでまさかの接触が！

そして、その脇を元嶋選手がすり抜けていった直後に、宮下選手、岡本選手ともにガードレールの餌食になってしまう。これで石坂選手、松澤選手が2番手、3番手に浮上し、予選を失敗していた伊藤選手が4番手に。宮下選手はその場でリタイア、岡本選手は再出走なって初めてチェッカーを受けたが、やはり日本一決定戦は鬼門だった……。

土壇場の大逆転で、元嶋選手が第 23 代 FJ 日本一の座に輝き、ウィナーに贈られるビッグトロフィーには、12 年に優勝を飾った兄・元嶋佑弥とともに名を記すこととなった。

5 位は佐藤選手で、6 位は西村選手。これに小松選手と野島選手が続いてゴールして、今年もレジェンドクラス優勝の吉田選手が 9 位に。なお、ジャンプアップ賞は前田大道選手が獲得。34 番手からシフトトラブルを克服して、19 位まで浮上していた。

### ・優勝 元嶋成弥選手 (MYST サクセス FIRST MOLDING)

「泣きました(笑)。僕は前2台がやり合っていたので、右に出てトップ立とうと思っていたんですよ。絶対にトップ立とうと右に出たら、ふたりが寄せ合ってバーンとなっていて。諦めずに着いていけたからこそその勝利です。僕、オートポリスでは勝ったことあるんですけど、ここ2年ずっと優勝していなかったもので、本当に嬉しいです。兄弟で同じレースを勝つ、これがずっと目標だったので、夢がかなって良かったです。来年は FIA-F4 に出たいですね、今はまだ分からないですけど。また、よろしくお願いします！」

・第2位 石坂瑞基選手(アウトィスタ テイク 10V)

「厳しいレースで、ペースがあまり良くなかったのですが、前を追っかけていく展開で、いっぱいいっぱい走っていたんですけど……。最後はトップの2台にああいうことがあって2番に上がったんですけど、もうちょっと……。今回、急に出ることになって、できる限りのことができたと思います。やっぱりスーパーFJ 面白いので、来年、鈴鹿などでリベンジします。最近、電子制御のクルマばかり乗っていたので、こういうクルマは楽しいし、ある意味すごく勉強にもなりますからね！」

・第3位 松澤亮佑選手(群馬トヨペット リノア ED)

「いいスタートが切れてポジションを落とすことなく、落ち着いて最後まで。淡々と走ることになっちゃったんですけど、最後までミスすることなく行けました。それによって、このポジションにいたから運もついたと思うので、3位は素直に嬉しいと思います」







# 2020 S-FJ & F4 日本一決定戦

2020 もてぎ・菅生ツーリングカー選手権

FIT1.5チャレンジカップ 第7戦

12.6 Sun  



TWIN RING MOTEGI

Road Course(4,801m)

## S-FJ 公式予選 A組

2020 / 12 / 6 :

### 正式結果表

Weather :Fine

Track :Half Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Best Time	Delay / Gap	Lap	CarName
1	56	-	1	宮下 源都	KK-S II	2'07.589		10 / 10	MYST・KK-S II・制動屋
2	38	-	2	上野 大哲	KK-S II	2'08.375	0.786 0.786	9 / 9	SACCESS RACING ES
3	61	-	3	佐藤 巧望	KK-S II	2'08.508	0.919 0.133	9 / 9	MYST・KK-S II・制動屋
4	81	-	4	松澤 亮佑	KK-S II	2'08.813	1.224 0.305	9 / 9	群馬トヨベッリ/AED
5	3	-	5	石坂 瑞基	RD10V	2'09.080	1.491 0.267	8 / 9	アウティスタ テイク10V
6	57	LEG	1	吉田 宣弘	KK-S II	2'09.399	1.810 0.319	9 / 9	DAYTONA☆KKS II ☆MYST☆ED
7	91	-	6	草野 裕也	RD10V	2'09.648	2.059 0.249	9 / 9	Sウインズ花鳥10VED
8	20	-	7	岡本 大輝	KK-S II	2'09.657	2.068 0.009	8 / 9	koudai・M2・KK-S II
9	70	-	8	徳升 広平	KK-S II	2'09.759	2.170 0.102	8 / 8	フジタ薬局アホロ電工高山短大レブリ
10	6	-	9	岩澤 優吾	KK-S II	2'09.780	2.191 0.021	8 / 9	FTK・レブレーシングカレージ
11	10	-	10	伊藤 駿	RD10V	2'10.034	2.445 0.254	6 / 8	ZAP重力の森10VED
12	36	-	11	須合 修也	RD10V	2'10.115	2.526 0.081	9 / 9	ALBIREX-RTRD10V
13	13	-	12	杉本 涼	RD10V	2'10.120	2.531 0.005	5 / 9	ZAP SPEED 10V ED
14	11	-	13	三島 優輝	KK-S II	2'10.453	2.864 0.333	8 / 9	Rn-Sports制動屋 KKSZ
15	48	-	14	小谷 諭司	RD10V	2'10.891	3.302 0.438	9 / 9	NILZZぐんま東庄10VED
16	22	-	15	内藤 大輝	KK-S II	2'11.027	3.438 0.136	9 / 9	RaiseUP RCIT ED
17	2	-	16	鹿谷 遼平	KK-S II	2'11.041	3.452 0.014	9 / 9	KRS KKS-2
18	21	LEG	2	太田 浩	KK-S II	2'12.624	5.035 1.583	9 / 9	ミスト・セキグチ・制動屋
19	9	LEG	3	上吹越 哲也	KK-S II	2'13.190	5.601 0.566	8 / 9	FTK・レブレーシング

以上予選通過 (2'46.604 - 130%)



TWIN RING MOTEGI

Road Course(4,801m)

## S-FJ 公式予選 B組

2020 / 12 / 6 :

### 正式結果表

Weather :Fine

Track :Half Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Best Time	Delay / Gap	Lap	CarName
1	99	-	1	元嶋 成弥	KK-S II	2'04.855		12 / 12	MYSTサクセスFIRSTMOLOING
2	8	-	2	岡本 大地	KK-S II	2'04.882	0.027 0.027	7 / 7	FTK・レブレーシングカレージ
3	18	-	3	西村 和真	WEST 19J	2'05.079	0.224 0.197	10 / 11	WEST 19J
4	15	-	4	小松 響	KK-S II	2'05.648	0.793 0.569	12 / 12	Rn-Sports・OKABE・KKS II
5	19	-	5	鶴岡 秀磨	KK-S II	2'05.796	0.941 0.148	11 / 11	KRSゼンカイレレーシング
6	14	-	6	新倉 涼介	RD10V	2'06.160	1.305 0.364	9 / 9	ZAP LUCK 10V ED
7	17	-	7	伊藤 慎之典	RD10V	2'06.532	1.677 0.372	10 / 10	
8	66	-	8	野島 遼葵	RD10V	2'06.551	1.696 0.019	10 / 10	Deep-R・ユウキテクス10VED
9	86	-	9	宇高 希	KK-S II	2'07.460	2.605 0.909	8 / 10	CF垂衣☆制動屋☆NJKヤッコKKS II
10	51	-	10	齊藤 慈岳	KK-S II	2'07.534	2.679 0.074	10 / 10	FER ISIT KK-S2
11	1	-	11	関根 陽幹	RD10V	2'07.587	2.732 0.053	8 / 10	オートルック☆10V
12	75	-	12	普勝 峻	KK-S II	2'07.734	2.879 0.147	10 / 10	FTK・レブレーシング
13	7	-	13	本田 千啓	RD10V	2'07.783	2.928 0.049	10 / 10	オートルック☆モダン☆10V☆AGI
14	52	-	14	安田 航	KK-S II	2'08.050	3.195 0.267	11 / 11	ファーストカレージ'Sウインズ'S II
15	0	LEG	1	夕田 大助	KK-S II	2'08.420	3.565 0.370	10 / 10	
16	37	-	15	長谷部 一真	RD10V	2'09.385	4.530 0.965	8 / 10	アルビMakewinner

以上予選通過 (2'42.420 - 130%)

71 - 地頭所 光 KK-S II 計測出来ず ゼンカイレレーシング遊技関連ED  
72 - 前田 大道 KK-S II 計測出来ず ELEVレーシングトリムAKKS II SWR



TWIN RING MOTEGI

## S-FJ 決勝 ファイナル

2020 / 12 / 6 :

## 正式結果表

Weather : Fine

Track : Dry

Road Course(4.801m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Lap	Total Time	Delay / Gap	Best	B/L	CarName	
1	99	-	1	元嶋 成弥	KK-S II	10	20'51.206		2'03.873	6 / 10	MYSTサカセスFIRSTMOLOING	
2	3	-	2	石坂 瑞基	RD10V	10	20'52.255	1.049	1.049	7 / 10	アウティスタテイク10V	
3	81	-	3	松澤 亮佑	KK-S II	10	20'53.535	2.328	1.279	2'04.059	5 / 10	群馬トベットリアFD
4	10	-	4	伊藤 駿	RD10V	10	20'56.815	5.609	3.280	2'04.490	8 / 10	ZAP重力の森10VED
5	61	-	5	佐藤 巧望	KK-S II	10	21'01.609	10.402	4.793	2'04.550	10 / 10	MYST KK-S II 制動屋
6	18	-	6	西村 和真	WEST 19J	10	21'03.247	12.041	1.838	2'05.009	9 / 10	WEST 19J
7	15	-	7	小松 晋	KK-S II	10	21'03.689	12.482	0.441	2'04.790	9 / 10	Rn-Sports OKABE-KKS II
8	66	-	8	野島 遼葵	RD10V	10	21'05.228	14.022	1.539	2'04.894	6 / 10	Deep-R・ウキヤガス10VED
9	57	LEG	1	吉田 宣弘	KK-S II	10	21'06.600	15.394	1.371	2'04.672	7 / 10	DAYTONA☆KKS II ☆MYST☆ED
10	20	-	9	岡本 大輝	KK-S II	10	21'08.939	17.733	2.339	2'04.999	8 / 10	koudai-M2-KK-S II
11	13	-	10	杉本 涼	RD10V	10	21'10.271	19.065	1.332	2'04.955	6 / 10	ZAP SPEED 10V ED
12	6	-	11	岩澤 優吾	KK-S II	10	21'10.691	19.484	0.419	2'04.880	10 / 10	FTK・レヴレーシングガレージ
13	19	-	12	鶴岡 秀磨	KK-S II	10	21'13.703	22.496	3.012	2'05.981	9 / 10	KRSセブンカイレーシング
14	36	-	13	須合 修也	RD10V	10	21'15.824	24.617	2.121	2'05.748	9 / 10	ALBIREX-RTRD10V
15	14	-	14	新倉 涼介	RD10V	10	21'15.844	24.637	0.019	2'05.915	3 / 10	ZAP LUCK 10V ED
16	86	-	15	宇高 希	KK-S II	10	21'16.389	25.183	0.545	2'05.846	7 / 10	CF重衣☆制動屋☆NJKヤッコKKS II
17	71	-	16	地頭所 光	KK-S II	10	21'16.858	25.652	0.469	2'05.666	10 / 10	セブンカイレーシング遊技関連ED
18	11	-	17	三島 優輝	KK-S II	10	21'18.044	26.837	1.185	2'05.722	9 / 10	Rn-Sports制動屋 KKSZ
19	72	-	18	前田 大道	KK-S II	10	21'18.360	27.173	0.335	2'05.146	5 / 10	ELEVレーシングトリム&KKS II SWR
20	21	LEG	2	太田 浩	KK-S II	10	21'21.140	29.934	2.760	2'06.221	9 / 10	ミストセキチ 制動屋
21	0	LEG	3	夕田 大助	KK-S II	10	21'21.854	30.647	0.713	2'06.196	9 / 10	
22	38	-	19	上野 大哲	KK-S II	10	21'21.976	30.769	0.121	2'04.304	9 / 10	SUCCESS RACING ES
23	52	-	20	安田 航	KK-S II	10	21'26.196	34.989	4.220	2'06.340	5 / 10	ファーストガレージ'SウインズS II
24	70	-	21	徳升 広平	KK-S II	10	21'26.375	35.168	0.178	2'05.136	8 / 10	フジヤマ7ホム電工高山短大レブリ
25	9	LEG	4	上吹越 哲也	KK-S II	10	21'31.152	39.946	4.777	2'07.054	9 / 10	FTK・レヴレーシング
26	22	-	22	内藤 慎之典	KK-S II	10	21'31.622	40.415	0.469	2'06.381	10 / 10	RaiseUP RCIT ED
27	17	-	23	伊藤 慎之典	RD10V	10	21'32.172	40.966	0.550	2'05.744	9 / 10	
28	91	-	24	草野 裕也	RD10V	10	21'32.378	41.172	0.206	2'05.198	8 / 10	ウインズ花鳥 10VED
29	51	-	25	齊藤 恭岳	KK-S II	10	21'35.609	44.403	3.230	2'07.057	10 / 10	FER ISIT KK-S2
30	75	-	26	菅勝 峻	KK-S II	10	21'36.167	44.961	0.558	2'07.254	7 / 10	FTK・レヴレーシング
31	37	-	27	長谷部 一真	RD10V	10	21'36.621	45.415	0.453	2'07.343	10 / 10	7ルビMakewinner
32	8	-	28	岡本 大地	KK-S II	10	21'43.630	52.423	7.008	2'03.970	8 / 10	FTK・レヴレーシングガレージ
33	1	-	29	関根 陽幹	RD10V	10	21'47.064	55.858	3.434	2'06.268	8 / 10	オートロック☆10V
34	56	-	30	宮下 源都	KK-S II	9	18'45.174	1Lap	1Lap	2'03.969	5 / 9	MYST KK-S II 制動屋
***** 以上完走 (規定周回数 : 7Laps) *****												
7	-	-	-	本田 千啓	RD10V	0					オートロック☆モダン☆10V☆AGI	
2	-	-	-	鹿谷 遼平	KK-S II	0					KRS KKS-2	
48	-	-	-	小谷 諒司	RD10V	0					NILZZぐんま東庄 10VED	

